

宍粟市 子ども・子育て支援 新制度におけるニーズ調査（案）

（就学前児童保護者用）

調査ご協力をお願い

皆さまには、日ごろから市政に関するご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

平成 24 年 8 月、国において「子ども・子育て支援法」が制定され、「子ども・子育て支援新制度」が平成 27 年度からスタートする予定となり、各自治体は「子ども・子育て支援事業計画」を策定することとなりました。

この計画は、国が示す基本方針に基づき、宍粟市の子育て支援の必要性を把握し、地域の実情に応じた子育て支援施策を整備する事業計画です。

このため、宍粟市においても事業計画策定に向けた基礎資料を得ることを目的として、市民の皆さまの子育て支援に関する生活実態、ご要望・ご意見などをおたずねするため、「宍粟市 子ども・子育て支援 新制度におけるニーズ調査」を実施することといたしました。

この調査は、平成 25 年 10 月 1 日現在、就学前のお子さんがいる全世帯にご協力をお願いするものです。

ご回答いただいた調査内容は、市や国・県の子ども・子育て支援施策の検討にのみ利用させていただき、個々の回答内容を公表したり、調査の目的以外に使用したりすることは、一切ございません。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ニーズ調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 25 年 11 月

宍粟市長 福元 晶三

【ご記入にあたってのお願い】

1. 調査票には、できる限り**お子さんの保護者の方**がご記入ください。特に、ことわりのある場合以外は、**封筒のあて名のお子さんのこと**についてご記入ください。
2. ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合がございます。
3. 選択肢の場合、お選びいただく数か設問によって異なりますので注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
4. 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、**24 時間制**（例：午後 5 時→17 時）でご記入ください。
5. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、**ことわり書きや矢印に従って**ご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。

※ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の**返信用封筒(切手不要)**に入れて **12 月 8 日(日)まで**にご投函ください。

※ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、お手数ですが下記までお願いいたします。

【問合せ先】 宍粟市 健康福祉部 社会福祉課 児童福祉係

電 話：0790-63-3067

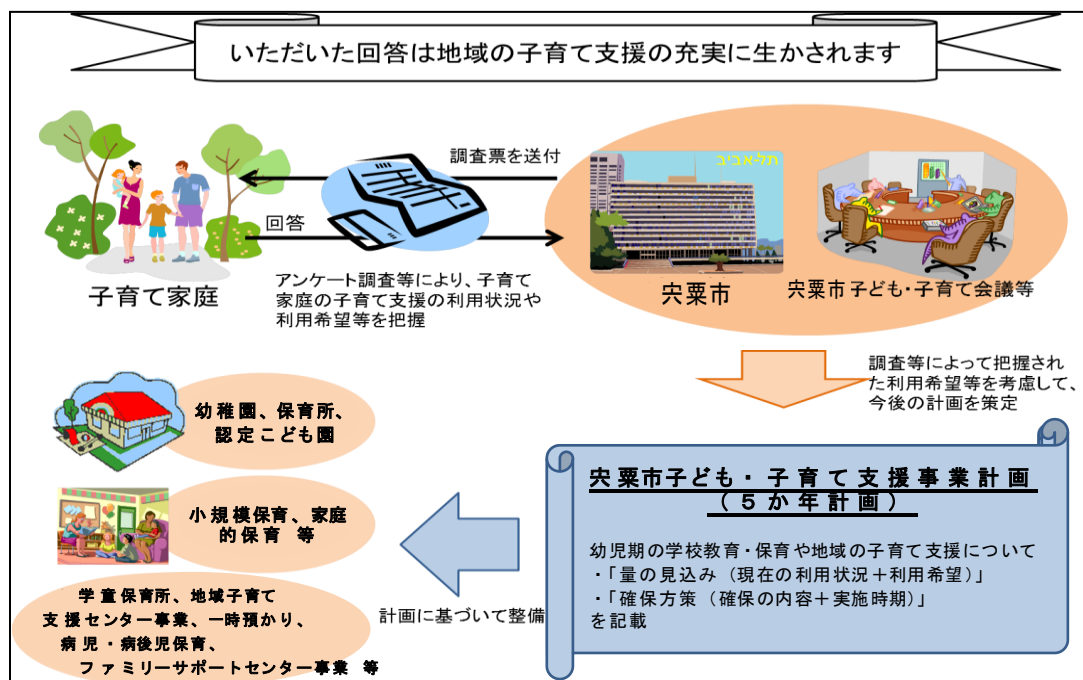
ファックス：0790-63-3062

メー ル：jidofukushi-kk@city.shiso.lg.jp

回答するにあたってお読みください

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援をめざしています。



（用語の定義）

この調査票における用語の定義は以下のとおりです

- ・ 幼 稚 園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・ 保 育 所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- ・ 認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・ 子 育 て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・ 教 育：問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

封筒のあて名のお子さんご家族の状況
についてうかがいます。

国・必須 問1 お住まいの小学校区はどちらですか。(〇は1つだけ)

- | | | | |
|------------|------------|-------------|-------------|
| 1. 山崎小学校区 | 2. 菅野小学校区 | 3. 城下小学校区 | 4. 戸原小学校区 |
| 5. 河東小学校区 | 6. 神野小学校区 | 7. 伊水小学校区 | 8. 都多小学校区 |
| 9. 土方小学校区 | 10. 神戸小学校区 | 11. 染河内小学校区 | 12. 下三方小学校区 |
| 13. 三方小学校区 | 14. 繁盛小学校区 | 15. 波賀小学校区 | 16. 野原小学校区 |
| 17. 道谷小学校区 | 18. 千種小学校区 | | |

※小学校区が分からない場合は、お住まいの地区名又は自治会名をご記入ください()

国・必須 問2 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。

平成 () 年 () 月生まれ

国・任意 問3 お子さんは何人いらっしゃいますか。数字を() 内にご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子(一番小さいお子さん)の生年月をご記入ください。

子どもの数 () 人 末子の生年月 平成 () 年 () 月生まれ

国・必須 問4 この調査票にご回答いただく方は、あて名のお子さんからみてどなたですか。(〇は1つだけ)

1. 母親 2. 父親 3. その他()

国・必須 問5 この調査票にご回答いただいている方には、配偶者はいらっしゃいますか。(〇は1つだけ)

1. いる 2. いない

国・必須 問6 あて名のお子さんの子育てを主に行っている方は、お子さんからみてどなたですか。(〇は1つだけ)

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他()

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

国・任意 問7 あて名のお子さんの子育てに日常的に関わっている方(施設)を、お子さんからみた関係でお答えください。(〇はいくつでも)

1. 父母ともに 2. 母親 3. 父親 4. 祖父母 5. 幼稚園 6. 保育所
7. 認定こども園 8. その他()

国・任意 問8 あて名のお子さんの子育てに、もっとも影響すると思われる環境は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 家庭 2. 地域 3. 幼稚園 4. 保育所 5. 認定こども園
6. その他()

国・任意 問9 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|-----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } ⇒ 問9-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } ⇒ 問9-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない | ⇒ 問10へ |

問9で「1.」または「2.」に〇をつけた方にうかがいます。

国・任意 問9-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(〇はいくつでも)

1. 祖父母等の親族が子育てに協力してくれて、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問9で「3.」または「4.」に〇をつけた方にうかがいます。

国・任意 問9-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(〇はいくつでも)

1. 友人・知人が子育てに協力してくれて、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

国・任意 問10 あて名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. いる／ある ⇒ 問10-1へ | 2. ない ⇒ 問11へ |
|-------------------|--------------|

国・任意 問10-1 問10で「1. いる／ある」に〇をつけた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------|----------------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援センター等 |
| 5. 保健福祉センター | 6. 保育士 |
| 7. 幼稚園教諭 | 8. 民生委員・児童委員 |
| 9. かかりつけの医師 | 10. 自治体の子育て関連担当窓口(家庭児童相談室) |
| 11. その他 () | |

国・任意 問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

あて名のお子さんの、保護者の方の就労状況についてうかがいます。

問 12 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

国・必須 (1) 母親【父子家庭の場合、記入は不要です】（○は1つだけ）

- | | |
|--|-------------------------------------|
| 1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない | ⇒ (1) -1へ

⇒ (2)へ |
|--|-------------------------------------|

※フルタイムとは、1週5日程度・1日8時間程度以上の就労をいいます。

国・任意 (1) -1 (1)で「1. ～4. 」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。()内に数字でご記入ください。

1週あたり () 日 1日あたり () 時間

国・任意 (1) -2 (1)で「1. ～4. 」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は必ず(例)8時～18時のように、24時間制でお答えください。()内に数字でご記入ください。

家を出る時刻 () 時 ～ 帰宅時刻 () 時

国・必須 (2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--|--------------------------------------|
| 1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない | ⇒ (2) -1へ

⇒ 問 14へ |
|--|--------------------------------------|

※フルタイムとは、1週5日程度・1日8時間程度以上の就労をいいます。

国・任意 (2)-1 (2)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。()内に数字でご記入ください。

1週あたり () 日 1日あたり () 時間

国・任意 (2)-2 (2)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護・休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は必ず(例)8時～18時のように、24時間制でお答えください。()内に数字でご記入ください。

家を出る時刻 () 時 ～ 帰宅時刻 () 時

国・必須 問13 問12の(1)または(2)で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つだけ)

(1) 母親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

国・必須 問14 問12の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 今は子育てや家事などに専念したい
2. 1年より先、一番下の子どもが () 歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

- ①. フルタイム
- ②. パートタイム、アルバイト等(「①」以外)

→1週あたり () 日 1日あたり () 時間

(2) 父親

1. 今は子育てや家事などに専念したい
2. 1年より先、一番下の子どもが () 歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

- ①. フルタイム
- ②. パートタイム、アルバイト等(「①」以外)

→1週あたり () 日 1日あたり () 時間

**あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の
利用状況についてうかがいます。**

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問15-1に示した事業が含まれます。

国・必須 問15 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。
(○は1つだけ)

1. 利用している ⇒ 問15-1へ

2. 利用していない ⇒ 問15-5へ

国・必須 問15-1 問15-1～問15-4は、問15で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(○はいくつでも)

1. 幼稚園
(通常の就園時間の利用)

2. 幼稚園の預かり保育
(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)

3. 認可保育所
(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)

4. 認定こども園
(幼稚園と保育施設の機能を併せもつ施設)

5. その他の認可外の保育施設

6. 事業所内保育施設
(企業が主に従業員用に運営する施設)

7. ファミリーサポートセンター
(地域住民が子どもを預かる互助事業)

8. その他 ()

国・必須 問15-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週あたり何日、1日あたり何時間(何時から何時まで)かを、()内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず(例)8時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

1週あたり () 日

1日あたり () 時間 (時～ 時)

(2) 希望

1週あたり () 日

1日あたり () 時間 (時～ 時)

国・任意 問15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。「1.」を選択した場合は、合併前の旧町名を、「2.」を選択した場合は、該当する市町名を記入してください(県外市町を含みます)。

1. 宍粟市内(合併前の旧町名:

) 2. 他の市町(市町名:

)

国・任意 問15-4 平日に定期的に教育・保育事業を利用されている理由は何ですか。（〇はいくつでも）

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育てをしている方が現在就労している
3. 子育てをしている方の就労予定がある／求職中である
4. 子育てをしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育てをしている方が、病気であったり、障がいがある
6. 子育てをしている方が学生である
7. その他（ ）

国・任意 問15-5 問15で「2. 利用していない」に〇をつけた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。（〇はいくつでも）

1. （子どもの教育や発達のため、子どもの母親が父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている
9. その他（ ）

国・必須 問16 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（〇はいくつでも）
なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

- | | |
|--|--|
| 1. 幼稚園
（通常の就園時間の利用） | 2. 幼稚園の預かり保育
（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ） |
| 3. 認可保育所
（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの） | 4. 認定こども園
（幼稚園と保育施設の機能を併せもつ施設） |
| 5. その他の認可外の保育施設 | 6. 自治体の認証・認定保育施設
（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設） |
| 7. 小規模な保育施設
（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの） | 8. 家庭的保育
（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業） |
| 9. 事業所内保育施設
（企業が主に従業員用に運営する施設） | 10. 居宅訪問型保育
（保育者が子どもの家庭へ出向いて保育する事業） |
| 11. ファミリーサポートセンター
（地域住民が子どもを預かる互助事業） | 12. その他（ ） |

問16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。「1.」を選択した場合は、合併前の旧町名を、「2.」を選択した場合は、該当する市町名を記入してください（県外市町を含みます）。

1. 穴粟市内（合併前の旧町名： ） 2. 他の市町（市町名： ）

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

国・必須 問17 あて名のお子さんは、現在、子育て支援センター事業等（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場所）を利用していますか。（○はいくつでも）また、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

1. 子育て支援センター事業等（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）
1 週あたり（ ）回 もしくは 1 か月あたり（ ）回程度
2. その他穴粟市で実施している類似の事業（具体名： ）
1 週あたり（ ）回 もしくは 1 か月あたり（ ）回程度
3. 利用していない

国・必須 問18 問17のような子育て支援センター事業等について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。（○は1つだけ）また、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

1. 利用していないが、今後利用したい
1 週あたり（ ）回 もしくは 1 か月あたり（ ）回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
1 週あたり 更に（ ）回 もしくは 1 か月あたり 更に（ ）回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

国・任意 問19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。以下の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている		B これまでに利用 したことがある		C 今後利用したい （利用を続けたい）	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
①保健福祉センターの母親・両親教室	1	2	1	2	1	2
②保健福祉センターの子どもの健診や相談サービス	1	2	1	2	1	2
③青少年育成センターの子どもと家庭、青少年の悩み相談	1	2	1	2	1	2
④子育て支援センターの親子・グループ教室、施設の開放	1	2	1	2	1	2
⑤ファミリーサポートセンターの会員制預かり等サービス	1	2	1	2	1	2
⑥保育所や幼稚園の園庭等の開放	1	2	1	2	1	2
⑦子育ての総合相談窓口（健康増進課家庭児童相談室）	1	2	1	2	1	2
⑧広報穴粟の子育てパーク、母子健康カレンダー	1	2	1	2	1	2

あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

国・必須 問20 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）8時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生します。

※教育・保育事業とは、保育所、幼稚園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい

⇒ 利用したい時間帯
()時から ()時まで

(2) 日曜日・祝日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい

⇒ 利用したい時間帯 () 時から () 時まで

国・任意 問 20-1 問 20 の(1)もしくは(2)で、「3. 月に1~2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。(○はいくつでも)

1. 月に数回仕事が入るため 3. 親族の介護や手伝いが必要なため 5. その他（ ）	2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため 4. 息抜きのため
--	---

国・必須 問 21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）8時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
3. 休みの期間中、週に数日利用したい

⇒ 利用したい時間帯
() 時から () 時まで

国・任意 問 21-1 問 21 で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。（○はいくつでも）

1. 週に数回仕事が入るため	2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	4. 息抜きのため
5. その他（ ）	

あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)

国・必須 問22 平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた保護者の方（問15で1に〇をつけた方）にうかがいます。利用していらない方は、問23にお進みください。

この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった ⇒ 問 22-1へ 2. なかった ⇒ 問 23へ

国・必須 問22-1 あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）

1年間の対処方法	日数
①. 父親が休んだ	() 日
②. 母親が休んだ	() 日
③. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	() 日
④. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	() 日
⑤. 病児・病後児の保育を利用した	() 日
⑥. ベビーシッターを利用した	() 日
⑦. ファミリーサポートセンターを利用した	() 日
⑧. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	() 日
⑨. その他()	() 日

⇒ 問 22-5^A

問22-1で「①.」「②.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

国・必須 問22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても（ ）内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ () 日 ⇒ 問 22-3へ
2. 利用したいとは思わない ⇒ 問 22-4へ

国・任意▶問22-3 問22-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。（○はいくつでも）

1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリーサポートセンター等）
4. その他（ ）

⇒ 問 23 へ

国・任意 問 22-4 問 22-2で「利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間
4. 利用料がかかる・高い
日数など）がよい
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他（ ）

⇒ 問 23^

問22-1で「③。」から「⑨。」のいずれかに回答した方にうかがいます。

国・任意 問22-5 その際「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、「③」から「⑨」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても（ ）内に数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ () 日 ⇒ 問23へ
2. 休んで看ることは非常に難しい ⇒ 問22-6へ

国・任意

問 22-6 問 22-5で「2. 休んで見ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない
4. その他（ ）

あて名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。（平日日中の保育・教育を利用する方）

国・必須 問23 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も（ ）内に数字でご記入ください。

利用している事業・日数（年間）		
1. 一時預かり （私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを 保育する事業）		（ ）日
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち 不定期に利用する場合のみ）		（ ）日
3. ファミリーサポートセンター （地域住民が子どもを預かる事業）		（ ）日
4. ベビーシッター		（ ）日
5. その他（ ）		（ ）日
6. 利用していない	→ 問 23-1へ	

⇒ 問24△

問23で「6. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

国・任意▶問23-1 現在利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------|------------------------------------|
| 1. 特に利用する必要がない | 2. 利用したい事業が地域にない |
| 3. 地域の事業の質に不安がある | 4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよいくない |
| 5. 利用料がかかる・高い | 6. 利用料がわからない |
| 7. 自分が事業の対象者になるのかどうか
わからない | 8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない |
| 9. その他（ ） | |

国・必須 問24 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください。なお、事業の利用にあたっては一定の利用料がかかります。

問 24-1 へ 	1. 利用したい	計 () 日
	①. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	() 日
	②. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	() 日
	③. 不定期の就労	() 日
	④. その他 ()	() 日
2. 利用する必要はない ⇒ 問25へ		

国・任意 問24-1 問24で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問24の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。（○はいくつでも）

1. 大規模施設で子どもを預かる事業（例：幼稚園・保育所等）
2. 小規模施設で子どもを預かる事業（例：地域子育て支援拠点等）
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリーサポートセンター等）
4. その他（ ）



問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	①. （同居者を含む）親族・知人にみてもらった	（ ）泊
	②. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した （児童養護施設等で一定期間、子どもを保育する事業）	（ ）泊
	③. ②以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等） を利用した	（ ）泊
	④. 子どもを同行させた	（ ）泊
	⑤. 子どもだけで留守番をさせた	（ ）泊
	⑥. その他（ ）	（ ）泊
2. なかった		

問25で「1. あった ①.(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。
⇒①. 以外を選択した方は 問 26 へ

問25-1 その場合の頼みやすさはどの程度でしたか。（○は1つだけ）

1. 頼みやすい 2. どちらかというと頼みにくい 3. 大変頼みにくい



**あて名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の
放課後の過ごし方についてうかがいます。**

⇒ 5歳未満の方は、問30へ

国・必須

問26 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（〇はいくつでも）また、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。「学童保育所」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）17時のように24時間制でご記入ください。

「学童保育所」とは、保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
4. 放課後子ども教室 ※1	週（ ）日くらい
5. 学童保育所	週（ ）日くらい → 下校時から（ ）時まで
6. ファミリーサポートセンター	週（ ）日くらい
7. その他（公民館、公園など）	週（ ）日くらい

※1 「放課後子ども教室」・・・地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

国・必須

問27 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（〇はいくつでも）また、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。「学童保育所」の場合には利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）17時のように24時間制でご記入ください。

※だいたい先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
4. 放課後子ども教室	週（ ）日くらい
5. 学童保育所	週（ ）日くらい → 下校時から（ ）時まで
6. ファミリーサポートセンター	週（ ）日くらい
7. その他（公民館、公園など）	週（ ）日くらい

国・任意 問28 問26または問27で「5. 学童保育所」に○をつけた方にうかがいます。あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育所の利用希望はありますか。（（1）（2）それぞれに○は1つだけ）また利用したい時間帯を、（ ）内に（例）8時～18時のように24時間制でご記入ください。事業の利用には、一定の利用料がかかります。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 （ ）時から（ ）時まで
--	---	--------------------------

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 （ ）時から（ ）時まで
--	---	--------------------------

国・任意 問29 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望はありますか。（○は1つだけ）また利用したい時間帯を、（ ）内に（例）8時～18時のように24時間制でご記入ください。事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 （ ）時から（ ）時まで
--	---	--------------------------

**育児休業や短時間勤務制度など
職場の両立支援制度についてうかがいます。**

国・任意 問30 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけ、該当する（ ）内に数字をご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） ⇒取得期間（ ）日 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも） （ ）	1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） ⇒取得期間（ ）日 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも） （ ）

- | | |
|---|---------------------|
| 1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった | 2. 仕事が忙しかった |
| 3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった | 4. 仕事に戻るのが難しそうだった |
| 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった | 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる |
| 7. 保育所（園）などに預けることができた | 8. 配偶者が育児休業制度を利用した |
| 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった | |
| 10. 子育てや家事に専念するため退職した | |
| 11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった） | |
| 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった | |
| 13. 育児休業を取得できることを知らなかった | |
| 14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した | |
| 15. その他（ ） | |

国・任意 問30-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。（○は1つだけ）

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問30で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問31へ

国・任意 問30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。母親、父親それぞれについてお答えください。（○はひとつだけ）

（1）母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である ⇒ 問30-9へ
3. 育児休業中に離職した ⇒ 問31へ

（2）父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である ⇒ 問30-9へ
3. 育児休業中に離職した ⇒ 問31へ

問30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

国・任意 問30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（○は1つだけ）

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」にあてはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

（1）母親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった

（2）父親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった

国・任意 問30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。（ ）内に数字でご記入ください。

（1）母親

実際の取得期間（ ）歳（ ）か月	希望（ ）歳（ ）か月
------------------	-------------

（2）父親

実際の取得期間（ ）歳（ ）か月	希望（ ）歳（ ）か月
------------------	-------------

国・任意 問30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

(1) 母親

() 歳 () か月

(2) 父親

() 歳 () か月

問30-4で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

国・任意 問30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 (〇はいくつでも)

①母親

1. 希望する保育所に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	

②父親

1. 希望する保育所に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	

(2) 「希望」より遅く復帰した方 (〇はいくつでも)

①母親

1. 希望する保育所に入れなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	
6. その他 ()	

②父親

1. 希望する保育所に入れなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	
6. その他 ()	



問 30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

国・任意 問30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(〇は1つだけ)

(1) 母親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

(2) 父親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

問 30-7で「3. 利用したかったが、利用しなかった」と回答した方にうかがいます。

国・任意▶問 30-8 短時間勤務制度を利用しなかった理由はなんですか (〇はいくつでも)

(1) 母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（ ）

(2) 父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（ ）

問 30-2で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

国・任意 問30-9 あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、利用できる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。（○は1つだけ）

（1）母親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい

2. 1歳になる前に復帰したい

（2）父親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい

2. 1歳になる前に復帰したい

国・任意 問 31 宍粟市の地域における子育て環境や、支援への満足度についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

満足度が低い



満足度が高い

1

2

3

4

5

国・任意 問 32 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。